

床タイル・床シート用接着剤/平場用(一般型)・アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤

ルビロン エコプラス

施工マニュアル

 トーヨーポリマー株式会社

ルビロンエコプラスとは……

ルビロンエコプラスは、酢ビ系溶剤型接着剤の代替として開発されたアクリル樹脂系エマルション形接着剤です。以下、商品の特徴および使用方法をご理解の上ご愛用下さい。

A. 特 徴

- 長尺塩ビシート、ホモジニアスタイル、コンポジションタイルの施工に抜群の性能を有しており、施工中及び施工後の環境に配慮した一般工法用接着剤です。
1. 厚生労働省の指定する揮発性有機化合物(14物質)を含んでおりません。
(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン、クロルピリジン、DBP、テトラフェノン、DOP、ダイズ油、アセトアルデヒド、フェノール、ナフthalen)
 2. 従来の水系接着剤にはなかった強力な接着力、粘着力を発現するため、ホモジニアスタイルの施工が可能です。
 3. においがほとんどしないため、作業環境が最優先される現場（例：営業中の店舗内、病院、飲食店など）で使用可能です。
ただし、耐水性はありませんので、一般工法用にて御使用ください。
 4. 水系であるため、消防法、労働安全衛生法の規制を受けずに施工が可能です。

B. 製 品 特 性

	ルビロンエコプラス
外 観	灰白色粘稠液体
粘 度 (mPa・s/25℃)	10,000 ～ 30,000
不揮発分 (%)	65 ～ 75
密 度	1.20 ～ 1.40

C. 荷 姿

〔ルビロンエコプラス〕
15kgプラスチック容器(角型)
(弊社No. 10シヨ目ゴテ付属)

ルビロンエコプラス(床仕上材用)施工マニュアル

1 下地について

A. 種類

使用可能…モルタルコンクリート、コンパネ等

使用不可能…磁器タイル、床暖、鉄板の上、湿気の出る恐れのある下地、
1F部の土間コンクリート

注意必要

1. 黒ノリの上

90%以上除去(出来る限り)してから施工してください。

2. 既設床材の上

表面のワックス等を取り除いてから施工してください。

3. さび止め塗料

接着力が低下しますので、塗料を除去するか、
又は表面をサンディングしてから施工して下さい。

4. 貼り替え

古い接着剤等をきれいに除去し、下地の不陸を下地調整材にて調整
して下さい。

5. 塗床の上

塗床との相性がありますので、試し張りを行なって下さい。

6. ビールアップ[®] 接着剤の上

2/3以上除去してから、施工してください。

7. 非透水性下地 (2, 3, 5, 6)

塗布量を約250g/m²程度塗布し、オープンタイムを充分に取って下さい。

B. 修正・清掃

凹凸、段差は下地調整材にて修正し、ゴミ、水、油、サビ等は取り除いて下さい。

C. 下地状況確認 (2F以上が条件)

1. 吸水性のある下地 (下地の含水率が8~10%以下が施工可能の目安)

下地乾燥が速い: コンクリート上のモルタル下地、軽量コンクリート上のモルタル下地

…対策必要なしに施工可能

下地乾燥が遅い: テグスプレート上のコンクリート

…下地養生期間を長く取ったうえで、施工可能

未乾燥モルタル:

…表面強度が出ており、黒ずんでいる状態では、**施工しないで下さい。**

(バーナーでモルタル表面をあぶると、炎の先のモルタル面に水分が出ない程度)

下地が土間コンクリート:

…基本的に**1F部分は施工しないで下さい。**

防水処理後、施工可能です。(上記Aの5.7. 参照)

上からの水(雨あがり)

…乾燥するまでは、施工しないで下さい。

2. 吸水性の少ない下地: セルフベリング材、下地補修材、コンパネ下地

接着剤の乾きが吸水性のある下地に比べ遅く(10分程度)なります。

3. 吸水性のない下地: 塗床、既設床(重ね張り)

接着剤の乾きが吸水性のある下地に比べさらに遅く(20分程度)なります。

2

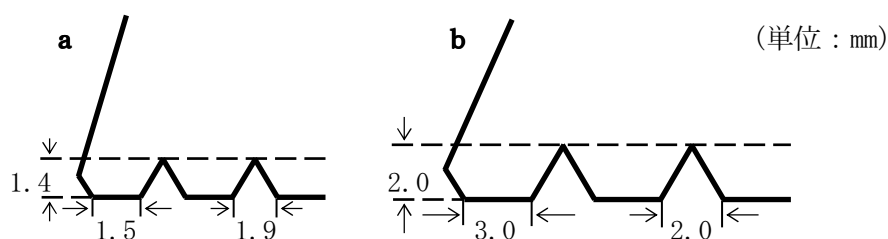
床材について

種	類	使用可能…ビニル床シート(NM、NC、NO、DC、DF、DO、PF、PO)、ホモジニアスビニル床タイル(HT)、コンポジションビニル床タイル(CT、CTS)、リリウム床タイル(LT)、リリウム床シート(LS)、カーペット、コルク(裏打ち有り)等のタイル等 使用不可能…コルク(裏打ち無し) 注 意 必 要 1. ゴム系床材 …接着し難い素材もありますので、事前に御連絡下さい。 2. 巻きぐせの強い床材
---	---	---

3

塗布量について

A. クシ目ゴテ



a 塗布量 約330g/m² (モルタル面)…No. 10

b 塗布量 約350g/m² (モルタル面)…No. 1 (JIS準拠クシ目ゴテ)

B. 標準塗布量

300～350 g/m² (モルタル面) …40～50 m²/15kg缶
下地状態及び使用クシ目ゴテにより、若干異なります。

C. 塗布量が少な目が良い場合

1. コンポジションビニル床タイル、コルクタイル(裏打ち有り)の施工(約250 g/m²)
2. ウレタン防水、塗床、既設床材上等の水分が下地に浸透しない場合の施工

D. 塗布量が多い目が良い場合

下地の不陸が大きい場合。
床材のバックキングの凹凸が大きいもの。
(必要に応じ、お問合せください。)

4

オープンタイムについて

A. 標準	準	季 節	オープンタイム(目安)	※ モルタル 下地を基準としています。
		夏 (25～35℃)	10 ～ 20分	
		春・秋(15～25℃)	15 ～ 20分	
		冬 (5～15℃)	20 ～ 30分	
※ルビロンエコプラスの色が、灰白色から灰色に変化し始め、表面に薄い皮が張り始めたら施工してください。				
B. オープンタイムを長めにする必要があるもの	1. コンポジションビニル床タイル、巻ぐせの強い床材、コルクタイル（裏打ち有）の施工の場合			
	2. ウレタン防水、既設床材上、等の水分が下地に浸透しにくい場合の施工、コンパネ下地での施工、下地の湿気が多い場合、現場の湿度が高い場合尚、作業環境等により、オープンタイムは変わりますのでご注意ください。			

5

張合せ可能時間について

A. 標準

準

季 節	張合可能時間(目安)オープンタイム後
夏 (25～35℃)	約40分
春・秋(15～25℃)	約50分
冬 (5～15℃)	約60分

※モルタル下地を基準としています。

※接着剤に触れてみて、粘着性があるうちは張合せが可能です。
長尺シート等厚さが薄い床材(約2mm以下)の場合、オープンタイムが長すぎると、施工後床材表面にクシ目が出る場合がありますのでご注意ください。

B. 張合可能時間が長くなる場合

現場の湿度が高い場合、風通しが悪い場合
下地が非吸水下地(ウレタン防水、塗床、既設床材上等)の場合

C. 張合可能時間が短くなる場合

現場の湿度が低い場合、風通しが良い場合

6

転圧について

1. 張合せ直後にローラー、紙管等で十分に転圧をかけて下さい。
2. 端、巻きぐせ等の浮き防止のため、1～2時間後に再転圧をかけて下さい。

7

仕上げについて

床材表面に付着した接着剤は硬化する前にヘラ、ウェス等で取り除いてから水布巾で拭いてください。

8

養生について

A. 標準硬化時間

季 節	硬化時間
夏 (25～35℃)	約 2 日
春・秋 (15～25℃)	約 2 日
冬 (5～15℃)	約 3 日

※**珪藻土下地**を
基準としています。

※特に冬場で下地の湿気が多い場合や、非吸水下地(塗床、重ね張り等)では、
硬化が更に長く(3倍以上)掛かります。

B. 重 歩 行

重歩行は春、秋、夏期で約 3 日、冬期で約 5 日間以上避けて下さい。
尚、環境状態により硬化時間は変わりますので、余裕を持って施工をお願いします。

9

保管について

A. 未 開 封

1. 直射日光を避け、5～35℃のところで保管してください。
子供の手の届かないところに保管してください。
2. 沈殿、分離がある場合は、良くかき混ぜてからご使用ください。
(製造日より 6 ヶ月ご使用頂けます。)
3. 凍結のおそれがあるため、5℃以下での保管は絶対に避けてください。

B. 開 封 後

1. 使用後は蓋をしっかりと締めて、直射日光を避け、5～35℃のところで保管してください。
2. 保管中、表面に皮膜が張る場合もあります。
(その他注意事項の1参照)

10

その他注意事項について

1. 開封後、表面に皮膜が張った場合は、それを取り除いてからご使用ください。
2. 身体に付着した場合は、すぐ水布巾で拭き取ってから、水洗いして下さい。
3. 接着剤の付着を防ぐために、手袋(軍手等)の着用をお勧めします。
4. 床材の巻きぐせが強く、再転圧を行っても納まりが悪い時は、重しを置いて下さい。
5. 部分補修する場合、ルビロンエコプラスを下地と床材に薄く塗布し、オープンタイムを取って張合せ、重しを置いて下さい。
6. 直射日光の当る場所での施工は、直射日光を遮断し1晩養生して下さい。
7. 気温が5℃未満での使用、保管は避けてください。
8. 安全性に関する不明な点は、製品安全データシート(MSDS)を参照下さい。
9. 接着用途以外には使用しないでください。

以上、不明な点がございましたら、トーヨーポリマー(株)まで、御問合せ下さい。

大 阪 06-6385-7921(代)
東 京 03-3591-5911(代)

2003.8.5 作成
2005.7.15改訂